

2024年2月15日

クラレトレーディング株式会社

2023年12月期決算概要

会社名 : クラレトレーディング株式会社
代表者 : (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 武司
問合せ先責任者 : (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 尾古 雅章
: (TEL) (06) 7635-1624

1. 当期の連結業績 (2023年1月1日～2023年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績

	当 期 (2023年1月～2023年12月)		前 期 (2022年1月～2022年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高	150,635	-	143,830	-	+6,805	+4.7%
売 上 収 益	61,588	-	58,844	-	+2,743	+4.7%
営 業 利 益	5,185	3.4%	5,114	3.6%	+70	+1.4%
経 常 利 益	5,372	3.6%	5,211	3.6%	+160	+3.1%
当期純利益	3,738	2.5%	3,658	2.5%	+80	+2.2%

(注) 2022年12月期より当社の100%出資現地法人であるクラレトレーディングベトナムを連結対象に加えており、当社の連結子会社は、可樂麗貿易(上海)有限公司、クラレトレーディングベトナムの2社となっています。

(2) 単体経営成績

	当 期 (2023年1月～2023年12月)		前 期 (2022年1月～2022年12月)		増 減	
	金額	取扱高利益率	金額	取扱高利益率	増減額	増減率
取 扱 高	143,084	-	136,195	-	+6,889	+5.1%
売 上 収 益	41,437	-	41,731	-	△293	△0.7%
営 業 利 益	4,412	3.1%	4,211	3.1%	+201	+4.8%
経 常 利 益	5,894	4.1%	4,545	3.3%	+1,349	+29.7%
当期純利益	4,377	3.1%	3,234	2.4%	+1,143	+35.4%

※1: 当社は、2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しています。

当該基準適用前(旧基準)での売上高に相当する金額を「取扱高」、当該基準適用後の売上高に相当する金額を「売上収益」として表示しています。

※2: 単体の営業外収益には、連結子会社からの受取配当金(連結決算では消去)を計上しています。

2. 当期の連結経営成績の概況

当連結会計年度（2023年1月1日～2023年12月31日）は、繊維関連は資材分野は苦戦しましたがスポーツ衣料用途が好調に推移し、化学品・化成品においては第3四半期以降にアジア市場での販売が拡大しました。この結果、当社の経営成績は、取扱高は150,635百万円（前年同期比6,805百万円増、4.7%の増収）、売上収益は61,588百万円（同2,743百万円増、4.7%の増収）、営業利益は5,185百万円（同70百万円増、1.4%の増益）、経常利益は5,372百万円（同160百万円増、3.1%の増益）、当期純利益は3,738百万円（同80百万円増、2.2%の増益）となりました。

セグメント別の状況は以下の通りです。

以下〈 〉表記は、クラレグループの商標または登録商標です。

（1）営業の概況

【繊維関連】（増収増益）

取扱高は42,395百万円（前期比1,805百万円減、4.1%の減収）、売上収益は31,865百万円（同457百万円増、1.5%の増収）、営業利益は2,254百万円（同109百万円増、5.1%の増益）となりました。

（衣料分野）

- 製品販売は、スポーツ衣料を中心に堅調に推移しました。
- スポーツ用途は、国内および中国でのスポーツアパレル・アウトドア向け販売が順調に拡大し、増収増益となりました。
- ユニフォーム用途は、ワーキング分野は不採算分野の見直しを進め収益が改善しましたが、白衣・サービス分野は販売減とコストアップの影響を受け、全体ではほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、衣料分野は増収増益となりました。

（資材分野）

- メディカル用途は、販売は前年並みに推移しましたが、利益はコストアップで減益となりました。その他資材関連は土木・建築用途を中心に需要減の影響を受けました。
- 人工皮革〈クラリーノ〉は、自動車用途の販売は好調に推移しましたが、スポーツシューズや手袋用途は販売減となりました。

以上の結果、資材分野は減収減益となりました。

【樹脂・化学品・化成品関連】（増収増益）

取扱高は99,584百万円（前期比9,283百万円増、10.3%の増収）、売上収益は26,234百万円（同2,698百万円増、11.5%の増収）、営業利益は2,711百万円（前期比21百万円増、0.8%の増益）となりました。

- 年後半にアジア市場での販売が拡大しました。

【その他（環境資材、機能製品、ベルト製品）】 （減収減益）

取扱高は8,657百万円（前年同期比673百万円減、7.2%の減収）、売上収益は3,489百万円（同413百万円減、10.6%の減収）、営業利益は220百万円（同60百万円減、21.4%の減益）となりました。

- 環境資材は堅調に推移しましたが、機能製品は低調な需要となりました。

（2）2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

中期経営計画「PASSION 2026」の主要戦略である「アジアでの更なる業容拡大」「繊維を中心とする独自ビジネスの収益強化」を進め、収益の拡大に引き続き注力してまいります。

2024年12月期の連結業績予想につきましては、以下の通りとなります。

（億円）

	取扱高	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期 （累計）	760	310	25	25	16
通 期	1,600	660	55	55	37

<注記>上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

以 上